

# KIYO

FINANCIAL GROUP



ミニ・ディスクロージャー誌  
平成24年9月中間期 営業のご報告

株式会社紀陽ホールディングス  
株式会社 紀陽銀行



## 目次

■ ごあいさつ	1
■ 第3次中期経営計画	2
■ 決算ハイライト	3
■ 地域密着型金融の取り組み	6
■ トピックス	8
■ CSR活動	10
■ 財務諸表	14
■ ネットワーク	16
■ 株式情報	17

## 株式会社 紀陽ホールディングス

設立日	平成18年2月1日
所在地	和歌山市本町1丁目35番地
資本金	583億50百万円
事業の内容	銀行等子会社の経営管理、 ならびにそれらに附帯する業務
上場証券取引所	東証第一部

## 株式会社 紀陽銀行

設立日	明治28年5月2日
所在地	和歌山市本町1丁目35番地
資本金	800億96百万円
店舗数	107店（和歌山県68カ店、大阪府36カ店） （奈良県2カ店、東京都1カ店）
従業員数	2,310名(出向者を除く)

※平成24年9月30日現在

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

## KIYO FINANCIAL GROUP

紀陽フィナンシャルグループ



※平成24年9月30日現在

## 全国銀行協会相談室について

全国銀行協会相談室は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、一般社団法人全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会は無料です。

詳しくは、一般社団法人全国銀行協会のホームページ  
<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>  
をご参照ください。

銀行とのトラブルがなかなか解決しないお客さまは「あっせん委員会」をご利用いただけます。

詳しくは、全国銀行協会相談室にお尋ねください。

電話番号 **0570-017109** または **03-5252-3772**

受付時間 9:00～17:00(銀行窓口休業日を除く)

※一般社団法人全国銀行協会は銀行法および農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

## ごあいさつ



取締役社長 片山博臣

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび「平成24年9月中間期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や第3次中期経営計画の概要、また、最近の取り組み状況などをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

当中間期のわが国経済は復興需要等を背景として緩やかな回復が続きましたが、世界景気の減速感が強まる中、生産や輸出も弱含み、回復の動きに足踏みがみられるようになりました。9月には尖閣諸島問題による日中関係の悪化が経済等に与える影響に懸念が高まりました。

当社グループの主要営業地域である和歌山県・大阪府においても、円高や原料高、電力不足などの影響による下押しリスクが懸念され、持ち直しに向けた動きに足踏み感が見られました。

このような中、グループの中核会社である紀陽銀行では、「お客さまから選ばれ続ける銀行」を目指すという方針に沿い、平成24年4月に新たな中期経営計画をスタートさせました。大阪府南部から和歌山県において強固な営業基盤を有するトップ地銀となれるよう営業基盤の構築を進めており、7月には大阪府堺市の紀陽堺ビル内に「大阪本部」を新設し、大阪府内での営業力の強化に努めております。和歌山県内ではリーディングバンクとして引き続き地域経済の活性化に貢献できるよう様々な金融サービスの提供に取り組んでおります。当中間期につきましては預金・貸出金とも残高が増加し、損益面ではほぼ計画通りの中間純利益を確保することができました。

9月には、平成18年に紀陽銀行と旧和歌山銀行が合併するに際して発行した公的資金優先株式315億円のうちほぼ半分の154億円(簿価ベース)を自己取得・消却(公的資金を返済)いたしました。今後とも、第3次中期経営計画を確実に履行し、全役職員が一丸となってお客さまの利便性向上や地域金融の円滑化に努め、残る公的資金の早期完済を目指してまいります。皆さまには引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年12月

# 第3次中期経営計画

平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートしております。大阪府南部から和歌山県にかけて強固な営業基盤を有するトップ地銀へとなるべく、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なりレバン活動」を推進してまいります。

## 紀陽銀行の基本方針

### 目指すべき銀行像

### 「お客様から選ばれ続ける銀行」

お客様の満足を第一とする心(ハート)を大切に、お客様の良き相談相手として知恵(ブレイン)を絞り、汗をかき行動する(アクション)銀行を目指します。

### 第3次中期経営計画における主要テーマ

「大阪府南部から和歌山県に強固な営業基盤を有する地域のトップ地銀」への着実な変身

公的資金完済とその後の安定的な内部留保蓄積を可能とする収益力の確保

地域内での存在感を高め、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なりレバン推進」

### 主要戦略

- ①大阪府南部を中心とした営業基盤の強化
- ②顧客満足度向上に向けた営業体制の変革
- ③経営管理態勢の強化
- ④CSR活動推進等による存在感の向上

紀陽銀行単体		平成23年 9月期	実績	平成24年 9月期	実績	前年同期比	第3次中期経営計画 平成27年3月期	計画
規模	預金等期末残高	3兆4,207億円		3兆5,484億円		1,277億円	3兆6,000億円以上	
	うち個人+一般法人の残高	3兆2,628億円		3兆3,846億円		1,218億円	3兆4,500億円以上	
	貸出金期末残高	2兆5,049億円		2兆5,595億円		546億円	2兆6,000億円以上	
	うちローン残高	8,915億円		8,936億円		21億円	9,300億円以上	
収益性	投資信託期末残高	1,437億円		1,459億円		22億円	1,850億円以上	
	コア業務純益	88億円		84億円		△4億円	200億円以上	
効率性	コア業務純益ROA(コア業務純益÷総資産期中平均残高)	0.46%		0.43%		△0.03%	0.50%以上	
	OHR(経費÷業務粗利益)	69.46%		68.01%		△1.45%	65%程度	
健全性	不良債権比率	3.48%		3.58%		0.10%	3.5%未満	
紀陽ホールディングス連結		平成23年 9月期	実績	平成24年 9月期	実績	前年同期比	第3次中期経営計画 平成27年3月期	計画
収益性	当期純利益	56億円		40億円		△16億円	90億円以上	
健全性	自己資本比率	11.79%		10.75%		△1.04%	11%程度 <sup>(*)</sup>	
	Tier I比率	9.03%		8.24%		△0.79%	8%以上 <sup>(*)</sup>	

\*自己資本比率、Tier I比率とも平成27年3月期計画は公的資金(315億円)完済後ベースの値。

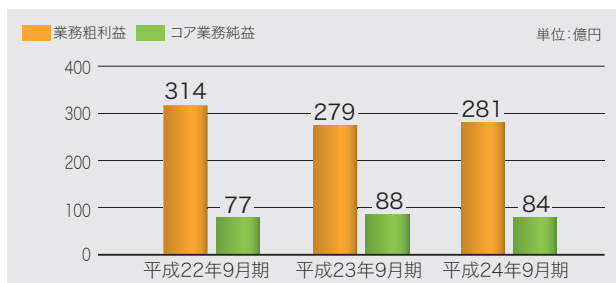
# 決算ハイライト

紀陽ホールディングス(連結)で、連結経常利益は前年同期比4億円減少の73億円となり、連結中間純利益は40億円となりました。

## ● 損益の状況 紀陽銀行 単体

### ● 業務粗利益・コア業務純益

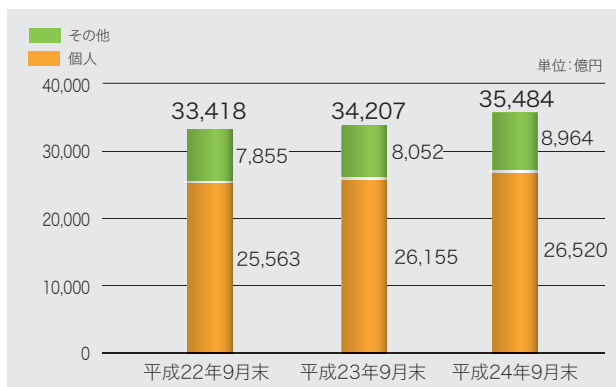
貸出金残高は増加しましたが、市場金利の低下から貸出金利息は7億円の減少となりました。前年同期と比べ債券関係損益が改善したため、業務粗利益は前年同期比2億円増加し、281億円となりました。また、コア業務純益は前年同期比4億円減少し、84億円となりました。



## ● 預金等の状況 紀陽銀行 単体

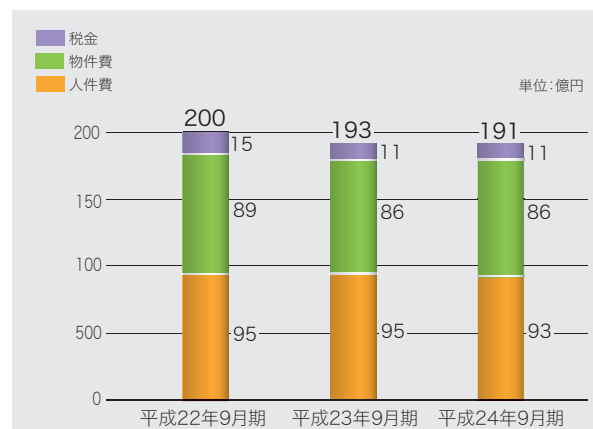
### ● 預金等残高

預金等残高は前年同期末比1,277億円増加の3兆5,484億円となりました。



### ● 経費

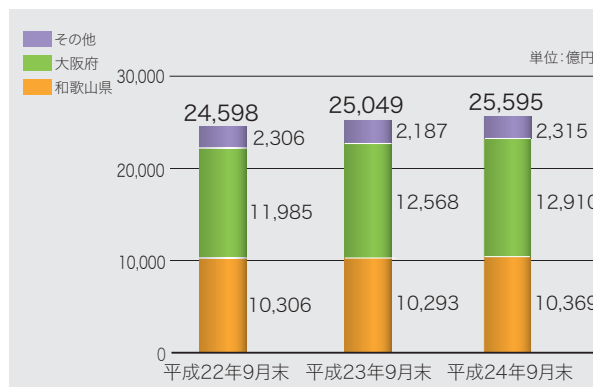
経費削減に努めた結果、経費全体では前年同期比2億円の減少となりました。



## ● 貸出金の状況 紀陽銀行 単体

### ● 貸出金残高

貸出金残高は、前年同期末比546億円増加の2兆5,595億円となりました。



# 決算ハイライト

## 自己資本比率

平成24年9月末の紀陽ホールディングス連結の自己資本額は、公的資金返済による資本剰余金の減少などにより、前期末比130億円減少の1,948億円となりました。

また、子銀行の紀陽銀行では貸出金が順調に増加したことにより、リスクアセットは前期末比243億円増加しました。

この結果、紀陽ホールディングス連結自己資本比率(第二基準)は、前期末比0.88%減少の10.75%となりました。

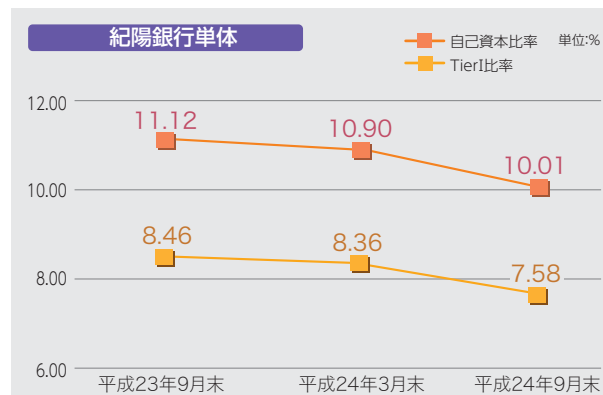
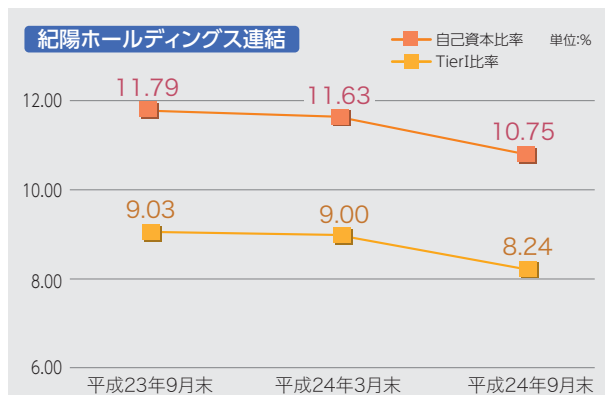
なお、紀陽銀行単体の自己資本比率(国内基準)は、前期末比0.89%減少し、10.01%となりました。

※第二基準とは、海外営業拠点を持たない銀行持株会社の基準です。

国内基準とは、海外営業拠点を有しない銀行の基準です。

	自己資本比率	自己資本額		リスクアセット	
		TierI	TierII		
紀陽ホールディングス 連結	10.75% (△0.88%)	1,948億円 (△130億円)	1,493億円 (△115億円)	454億円 (△14億円)	18,113億円 (+252億円)
紀陽銀行 単体	10.01% (△0.89%)	1,803億円 (△133億円)	1,365億円 (△120億円)	438億円 (△13億円)	18,010億円 (+243億円)

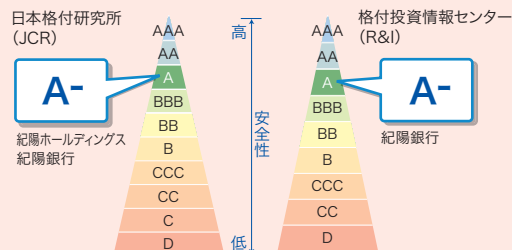
※( )内は平成24年3月末対比



## 格付の取得

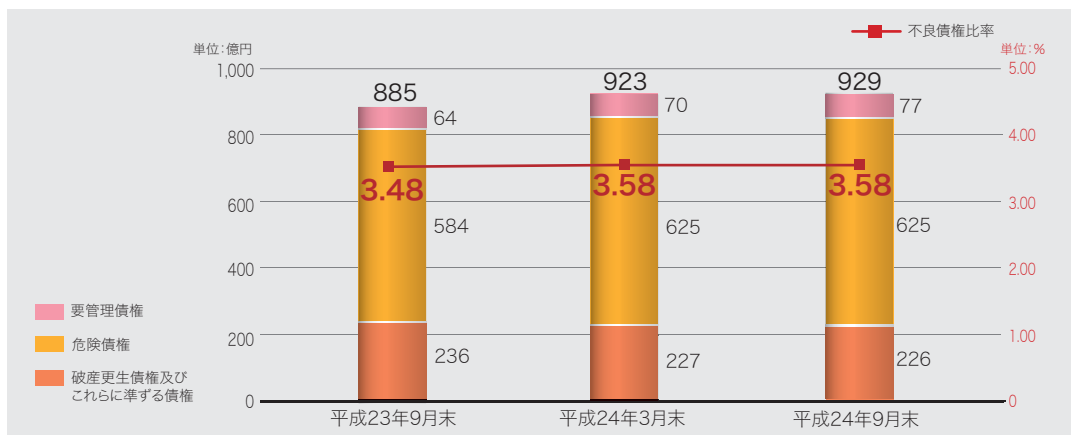
「格付」とは、第三者の格付機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。

紀陽ホールディングスおよび紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)と株式会社格付投資情報センター(R&I)から、格付の上位に位置する「A-」を取得しています。



## ●不良債権(金融再生法開示債権) 紀陽銀行 単体

不良債権残高は前期末比6億円増加し、929億円となりました。不良債権比率については、引き続きお取引先の事業再生や経営改善支援への取り組み強化を行っており、前期末比横這いの3.58%となりました。



### ●不良債権の保全状況

平成24年9月末の不良債権総額929億円のうち84.1%は担保や引当金などで保全されております。

単位: 億円

	債権額 <sup>(※)</sup>	保全額		保全率
		担保・保証等	引当額	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	226	226	203	100.0%
危険債権	625	515	401	82.4%
要管理債権	77	39	30	51.3%
合計	929	782	635	84.1%

(※) 貸出金、支払承認見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等の合計。

なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

### 用語解説

#### ●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

#### ●危険債権

債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

#### ●要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

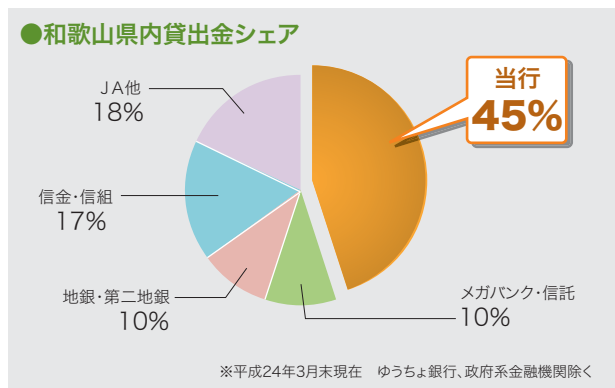
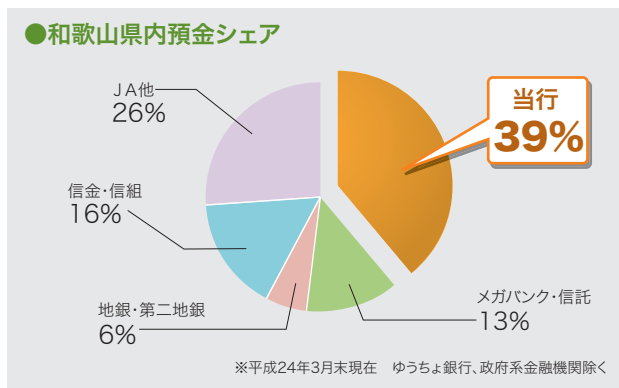
# 地域密着型金融の取り組み ～預金・貸出金の状況～

現在、和歌山県内に68店舗、大阪府内に36店舗を配置し、両府県を主要な営業基盤としております。地域金融機関として、多くのお客さまによりきめ細やかな対応とサービスを提供し、地域の皆さまの貯蓄・資産運用に関するニーズにお応えするとともに、企業や個人事業主の皆さまの資金需要に対し、円滑な資金のご提供に努めております。

## ● 預金・貸出金の和歌山県内シェア

和歌山県では預金、貸出金ともにトップシェアを維持しており、これからも地域のリーディングバンクとして地域の発展に向け、ますます重要な役割を果たせるよう努めてまいります。

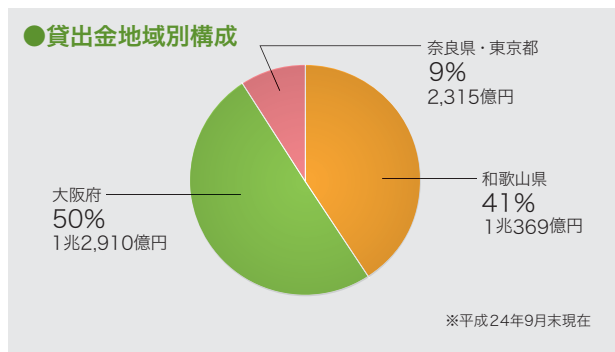
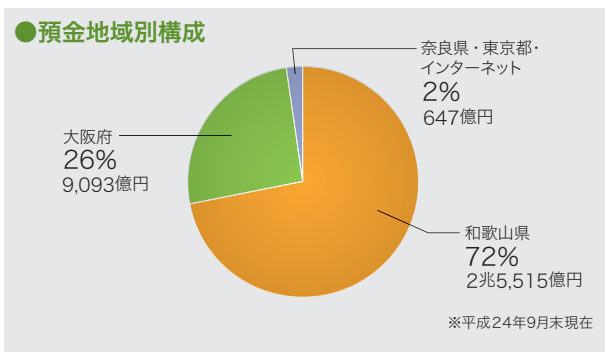
また、大阪府においても預金・貸出金とも順調に増加しており、より一層有力な地元銀行として認めていただけるよう営業体制の強化をすすめてまいります。



## ● 預金・貸出金の地域別構成

平成24年9月末の総預金残高（譲渡性預金を除く）3兆5,256億円のうち、98%の3兆4,609億円を和歌山県、大阪府の店舗にてお預かりしております。

貸出金につきましても、和歌山県、大阪府の店舗での貸出金残高は2兆3,280億円となっており、総貸出金残高の91%を占めております。





紀陽フィナンシャルグループでは、お取引先の経営課題解決に向けたお手伝いや成長支援、また地域のお客さまの利便性向上に向けた地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

## ● 経営サポート体制

### ● 経営改善のお手伝い「経営サポート室」

経営内容の改善に取り組まれているお取引先の改善計画策定や財務内容の改善に向けたお手伝いをするため、「経営サポート室」を設置しています。お取引先に応じた最適な改善方法を提案できるよう、営業店と一体となって取り組んでおります。

### ● 海外ビジネス活動の支援「グローバル・サポート・デスク」

お取引先の海外進出ならびに外為業務に関する課題解決に向けた支援を強化するため、「グローバル・サポート・デスク」を設置し、お取引先の海外ビジネス活動における様々なニーズにお応えしています。



#### ○ 海外金融機関等との業務提携

平成24年 7月	中国五大銀行の一つである交通銀行股份有限公司と提携
平成24年 8月	JBP(ジャパン・ビジネス・ポータル有限責任事業組合)と提携
平成24年 9月	インドネシア共和国のバンクネガラインドネシアと提携

#### ○ ビジネスセミナーの開催

海外でのビジネスニーズにお応えするために、「ビジネスセミナー」を開催しています。専門家による情報発信によりお取引先の海外市場進出を応援いたします。



## ● 「紀陽 お城の前の相談室」

和歌山市役所東隣の紀陽和歌山中央ビル4階にある「紀陽 お城の前の相談室」では専門スタッフを配置し、投資信託や保険をはじめ年金、相続、遺言のご相談まで、ライフプランや家計に関するご相談に幅広くお応えしています。

平日は午後7時まで、土曜・日曜は午後5時まで営業しておりますので、お仕事帰りや休日にもゆっくりご相談いただけます。お気軽に「紀陽 お城の前の相談室」をご利用ください。

受付時間、休業日、セミナー・相談会の日程など詳細につきましては、紀陽銀行本店に備え付けの「紀陽 お城の前の相談室セミナー・相談会のご案内」または紀陽銀行ホームページをご覧ください。いただくか、ハローサービスセンターへお問い合わせください。



● ハローサービスセンター 0120(037)389 (9:00~17:00 銀行窓口休業日を除く)

2012

4月  
Apr.

## ファーマーズローンの取扱い開始

4月5日から農業事業者の皆さま向けの「ファーマーズローン」の取扱いを開始いたしました。農業事業者の方の幅広い資金需要にお応えするローンで、最高6,000万円までお申し込みが可能です。

## 和歌山県内企業向け「公的支援策活用説明会」を開催

4月24日、和歌山ビッグ愛において、和歌山県内企業向けの「公的支援策活用説明会」を開催し、紀陽銀行のお取引先企業37社44名が参加されました。和歌山県、わかやま産業振興財団、和歌山県工業技術センターの講師をお招きし、新事業や販路開拓への支援策についての講演を行い、個別相談会では多くの企業の皆さまからご相談が寄せられました。



和歌山県内企業向け公的支援策活用説明会

2012

6月  
Jun.

## 「合同企業説明会 2012 in 和歌山」の開催

6月30日、和歌山大学において合同企業説明会を実施し、多数の学生の方々が参加され、地元企業の紹介が行われました。

紀陽銀行では毎年、地元企業と学生の皆さまとの出逢いの場を提供するために、和歌山県と大阪府の大学・高等専門学校で企業説明会を開催、企業の人材面での活性化のサポートを行っています。



合同企業説明会(和歌山大学)

2012

7月  
Jul.

## 大阪本部の設置

7月2日に大阪府堺市にある紀陽堺ビルに大阪本部を新設し、営業推進の中核機能を移転いたしました。

大阪府堺市以南地域は、和歌山県内とともに、紀陽銀行がお客さまとの接点強化に最も力を入れているエリアです。紀陽堺ビルに本部機能を置くことで、大阪府内の営業店とのネットワークをさらに高め、お客さまへの一層のサービス充実に努めてまいります。



大阪本部  
堺市堺区市之町東1-1-10紀陽堺ビル4F

2012



## インターンシップの受け入れ

産学連携による人材育成と地域貢献活動の一環として、毎年インターンシップの受け入れを行っています。今回は10大学27名の参加により8月に、4日間にわたって実施いたしました。学生の皆さまには銀行業務に関する講義、各営業店での実習、意見交換会への参加などを通じて、職業意識を醸成していただきました。



## 「医農連携シンポジウムin和医大」の開催

8月30日、和歌山県立医科大学において、「医農連携シンポジウム in 和医大」を開催し、お取引先および高等教育機関の教授など80名が参加されました。和歌山県立医大との連携による異業種交流会であり、お取引先企業の課題と大学の研究成果とのマッチングの場を提供するプロジェクトになっています。



2012



## 「紀陽クラシックコンサート」の開催

9月8日、和歌山市民会館で恒例の紀陽クラシックコンサートを開催いたしました。芸術と文化を通じた豊かな地域社会づくりをめざす、財団法人紀陽文化財団の活動の一環であり、クラシックファンを中心とした皆さまに、名曲の魅力を堪能していただきました。



陽文化財団の活動の一環であり、クラシックファンを中心とした皆さまに、名曲の魅力を堪能していただきました。

## 「日中ものづくり商談会@上海2012」の開催

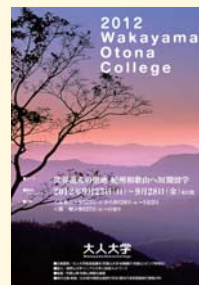
9月12日、13日の2日間、中国・上海市の上海世貿商城にて、中国での部品調達や販路拡大を目指す日本の製造企業と、現地企業との商談会が開催されました。紀陽銀行のお取引先を含め数多くの企業が出展し、活気ある商談が行われました。

海外展開を目指す企業の皆さまのお手伝いに、今後力も注いでまいります。



## 「大人大学」の開講

紀陽銀行および和歌山大学、株式会社和歌山リビング新聞社の提携による地域活性化事業として、「大人大学」を9月23日から28日の6日間にわたり開講いたしました。主に団塊の世代を対象に、和歌山県の魅力あふれる自然や歴史文化について楽しみながら教養を深めてもらう観光誘致・地域交流プロジェクトであり、地域経済の発展をお手伝いするものです。



# CSR活動 ～環境への取り組み～

紀陽フィナンシャルグループでは、環境保全や地域の美化活動に積極的に取り組んでおります。

## ● ISO14001 認証取得

紀陽銀行では、平成13年3月に本店敷地内を対象としてISO14001の認証を取得し、また、紀陽フィナンシャルグループ全体としても環境に配慮した取り組みを行っております。

## ● 環境に関連した金融商品の取扱い

紀陽銀行では、ISO認証取得や新たに環境ビジネスに参入するなど環境に関連した運転資金や設備投資に対する融資、ソーラーローン、エコ車両購入向けのローンなどのお取扱いを行っております。



## ● 地域の環境美化活動への参加

紀陽銀行では、創立100周年を機に平成7年6月に「紀陽銀行小さな親切の会」を発足させ、同時に社団法人「小さな親切」運動本部に加入しました。毎年、同会の活動の一環として、各営業店エリアにおける清掃活動や地元の催し物へのボランティア参加、献血への協力などの活動を行っております。

今後も、これまで以上に地元のお客さまのお役に立てるよう積極的に取り組み、地域づくりのお手伝いをしてまいります。



## ● 和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、環境保護活動への取り組みの一環として、和歌山県が森林の環境保全を目的として実施している「企業の森」事業に参画しています。平成18年4月より、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において活動を開始、これまでに約3,300本の植樹を行いました。毎年、社内にてボランティアを募り、下草刈り活動を通じて森林の保全活動を行っております。



## ● 21世紀金融行動原則への署名

「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」は、環境省が事務局となり、日本における環境金融の拡大と質の向上を目的として、幅広い金融機関で構成される起草委員会により策定された行動指針であり、紀陽銀行はその趣旨に賛同しております。

## ● 業界団体への参画

紀陽銀行では、全国の地方銀行が協力して環境保全に取り組む「日本の森を守る地方銀行有志の会」や、堺市と堺市内に出店している金融機関が協力して環境保全に取り組む「SAKAIエコファイナンスサポーターズ倶楽部」へ参加し、積極的に環境問題に取り組んでおります。

## ● 環境にやさしい店舗づくり

紀陽銀行田辺支店では、内装に和歌山県産の檜を、ペンダント照明にはLEDを、浄化槽はペットボトルの廃材を利用したエコ製品を採用しております。また、屋上には太陽光パネルを設置し、年間13,376kwh(平成23年実績)の発電を行っております。これは、杉の木が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量に換算しますと約300本分に相当します。



## ● 環境活動を行う事業者さまへのご支援

紀陽銀行では、三菱東京UFJ銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結し、両行が連携して地域環境の保護ならびに環境事業の支援に積極的に取り組み、地域企業の発展・地域経済の活性化に貢献しております。

また、平成21年3月にはオリックス株式会社と「環境負荷削減支援事業」に関する基本契約を締結し、地元企業の皆さまにESCO事業をご支援しております。

### ※ESCO事業(Energy Service Company)とは

環境負荷低減のための設備および省エネ等の役務を提供する事業です。工場やビルの省エネルギーに関する診断をはじめ、改修工事、導入した設備やシステムの保守・管理にいたるまでESCO事業者が一括して管理し、省エネ効果を保証する仕組みです。

## ● エコ販促品の利用

紀陽銀行では、店頭などでお客さまにお渡しするPR用頒布品に環境に配慮した商品を導入しています。例えば、再生紙100%のポケットティッシュや、使用後にそのまま古紙回収に出せるアルミキッチンホイル、蛍光増白剤・柔軟剤および塩素系漂白剤を使用せず環境に配慮した生産工程で作られたタオルなどがあります。



## CSRレポートを発刊しています

紀陽フィナンシャルグループでは、当グループのCSR(社会的責任)活動をより多くの方にご理解いただくために、「CSRレポート」を平成24年10月に発刊いたしました。当グループの活動全体を紹介するとともに、営業店での独自の取り組みも紹介しております。本誌は紀陽銀行の各営業店および関連各社に設置しておりますので、ぜひご覧ください。



# CSR活動 ～地域社会への取り組み～

紀陽フィナンシャルグループでは、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

## ● 財団法人 紀陽文化財団

毎年恒例の「紀陽コンサート」の開催(P9参照)の他に、和歌山県立近代美術館・博物館で開催される特別展をはじめとした展覧会に地域の皆さまをご招待(ハガキによるお申込み、お申込み多数の場合は抽選)しております。

また、毎月第4土曜日を「紀陽文化財団の日」とし、和歌山県立近代美術館・博物館への大学生の入場料を負担し、無料としております。

## ● スポーツを通じたCSR活動

### バスケットボールの子ども教室(クリニック)

紀陽フィナンシャルグループでは、平成23年4月に女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」を新たに設立しました。紀陽ハートビーツは日々のトレーニングに加えて、地元の小中学生を対象としたバスケットボールの子ども教室を開催しております。

これからも、地元を愛されるチームとして活動を行ってまいります。



### 「地元スポーツチーム応援定期」の取扱い

平成24年11月1日から25年2月15日まで、バレーボールVプレミアリーグに加盟する男子バレーボールチーム「堺ブレイザーズ(本拠地:大阪府堺市)」の応援定期のお取扱いを行い、地元スポーツチームを地域の皆さまとともにサポートしております。



## ● 地元中学生の職場見学を開催

地元中学生を対象にした職場見学を開催しました。男女あわせて8名の生徒が本店ロビーやお客さま向けの貸金庫などを見学し、銀行業務に関する説明や質問を受け付けるなど理解を深める時間も設けられました。生徒たちはあらかじめ質問を考えてきていた様子で熱心に話に聞き入っていました。



## ● 各種大会への協賛・地域行事への参加

紀陽銀行は、「和歌山県綱引選手権大会」や少年野球大会、卓球大会などに協賛しております。また、「和歌浦ベイマラソン with ジャズ」の運営ボランティア派遣や和歌山市の夏の中心イベントの一つである「紀州おどり」への参加など、地域の各種イベントへの参加を通じ、地域の皆さまとの交流を深めております。



和歌山県綱引選手権大会



和歌浦ベイマラソン with ジャズ

## ● 障がいのあるお客さまへの対応

紀陽銀行では、目の不自由な方にも安心してご利用いただけるよう、すべてのATMに受話器型の音声案内装置を設置しています。

また、平成23年3月から視覚障がいのあるお客さまのために、残高のお知らせや定期預金の満期ご案内、お取引明細などの点字通知サービスも行っています。

さらに、耳が不自由な方の利便性向上のため、全店で耳マーク表示板とコミュニケーションボードを設置しています。



点字通知サービス



音声案内装置



コミュニケーションボード

耳マーク表示板

耳の不自由な方は  
筆談しますので  
お申し出下さい

聞こえが不自由なことを表す  
「耳マーク」です

## ● 非常用電源車の導入

紀陽銀行では、平成23年9月に紀伊半島に甚大な被害をもたらした台風12号の影響により一部の地域で停電を経験しました。その経験を踏まえ、突発的な停電に対してもお客さまに継続して金融サービスをご提供できるよう、24年4月に非常用電源車（発電機を設置した一体型車両）を和歌山市に1台配備しました。これからも災害に強い金融機関を目指し、お客さまが安心してお取引していただけるよう努力してまいります。



## ● 安心して暮らせる社会づくりに貢献

高齢化社会が進む中、紀陽銀行では、行員が認知症に対する理解を深めることによって、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる社会づくりに貢献できるように「認知症サポーター」の養成に努めています。

また、年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、すべてのお客さまに公平なサービスと情報をご提供できるように、「ユニバーサルサービス」の実践研修を行っております。



認知症サポーター養成講座

## ● バリアフリーの取り組み

誰もがご利用になりやすい銀行を目指して、店舗でのバリアフリー化を推進しています。店頭への車いす配置や、車いす対応記帳台の設置、段差解消スロープや、点字ブロックの設置などのバリアフリー機能の導入店を拡大しています。



段差解消スロープと点字ブロックの設置

## ● 節電への対応

東日本大震災以降の電力不足に対応するため、紀陽フィナンシャルグループの総力を挙げて節電に取り組んでまいりました。今後も電力供給が不足する見通しであり、引き続き節電への協力を行ってまいります。

### ■ 夏の節電実績

(全店での使用電力量の22年度対比)

平成24年7月	△23.9%
8月	△16.3%
9月	△22.6%

# 財務諸表

## ● 紀陽ホールディングス(連結)

### 第8期中 中間連結貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	79,597	預金	3,518,143
コールローン及び買入手形	52,778	譲渡性預金	22,800
買入金銭債権	2,561	債券貸借取引受入担保金	58,951
商品有価証券	1,758	借入金	25,084
有価証券	1,084,043	外国為替	42
貸出金	2,552,888	社債	13,000
外国為替	1,604	その他負債	34,635
その他資産	39,225	退職給付引当金	30
有形固定資産	33,293	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	11,919	睡眠預金払戻損失引当金	558
繰延税金資産	12,914	偶発損失引当金	299
支払承諾見返	14,643	支払承諾	14,643
貸倒引当金	△ 28,571	負債の部合計	3,688,221
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	58,350
		資本剰余金	47,942
		利益剰余金	47,084
		自己株式	△ 693
		株主資本合計	152,683
		その他有価証券評価差額金	15,133
		繰延ヘッジ損益	297
		その他の包括利益累計額合計	15,430
		少数株主持分	2,321
		純資産の部合計	170,436
資産の部合計	3,858,657	負債及び純資産の部合計	3,858,657

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 第8期中 中間連結損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	39,740
資金運用収益	28,225
(うち貸出金利息)	( 22,124)
(うち有価証券利息配当金)	( 5,919)
役員取引等収益	5,647
その他業務収益	4,478
その他経常収益	1,390
経常費用	32,409
資金調達費用	2,949
(うち預金利息)	( 2,319)
役員取引等費用	1,999
その他業務費用	3,223
営業経費	20,633
その他経常費用	3,603
経常利益	7,331
特別利益	1
特別損失	43
税金等調整前中間純利益	7,290
法人税、住民税及び事業税	496
法人税等調整額	2,672
法人税等合計	3,168
少数株主損益調整前中間純利益	4,121
少数株主利益	77
中間純利益	4,044

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結範囲および持分法の適用に関する事項  
連結子会社は7社、持分法適用会社は0社であります。

連結子会社 ・ 株式会社紀陽銀行 ・ 紀陽リース・キャピタル株式会社  
・ 紀陽情報システム株式会社 ・ 株式会社紀陽カード  
・ 紀陽ビジネスサービス株式会社 ・ 株式会社紀陽カードディーシー  
・ 阪和信用保証株式会社

## ● 役員一覧(株式会社 紀陽ホールディングス)

(平成24年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役)	片山博臣	取締役	阪本彰央	監査役(非常勤・社外監査役)	松川雅典
専務取締役	米坂享	取締役(社外取締役)	水野八朗	監査役(非常勤・社外監査役)	増尾穰
常務取締役	泉清映	監査役(常勤)	樋口勝二	監査役(非常勤・社外監査役)	大平勝之
常務取締役	成田幸夫	監査役(常勤)	北山隆一		



## ● 紀陽銀行(単体)

### 第203期中 中間貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	79,407	預金	3,525,618
コールローン	52,778	譲渡性預金	22,800
買入金銭債権	2,561	債券貸借取引受入担保金	58,951
商品有価証券	1,758	借入金	24,584
有価証券	1,073,405	外国為替	42
貸出金	2,559,568	社債	13,000
外国為替	1,604	その他負債	25,622
その他資産	26,489	役員退職慰労引当金	32
有形固定資産	33,742	睡眠預金払戻損失引当金	558
無形固定資産	6,372	偶発損失引当金	299
繰延税金資産	11,239	再評価に係る繰延税金負債	178
支払承諾見返	14,641	支払承諾	14,641
貸倒引当金	△ 25,076	負債の部合計	3,686,330
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	80,096
		資本剰余金	15,697
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	15,437
		利益剰余金	40,796
		利益準備金	3,041
		その他利益剰余金	37,755
		繰越利益剰余金	37,755
		株主資本合計	136,590
		その他有価証券評価差額金	14,948
		繰延ヘッジ損益	297
		土地再評価差額金	326
		評価・換算差額等合計	15,572
		純資産の部合計	152,163
資産の部合計	3,838,493	負債及び純資産の部合計	3,838,493

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 第203期中 中間損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	36,106
資金運用収益	28,151
(うち貸出金利息)	( 22,091 )
(うち有価証券利息配当金)	( 5,879 )
役務取引等収益	4,566
その他業務収益	2,300
その他経常収益	1,087
経常費用	28,571
資金調達費用	2,946
(うち預金利息)	( 2,320 )
役務取引等費用	2,399
その他業務費用	1,512
営業経費	18,701
その他経常費用	3,011
経常利益	7,535
特別利益	1
特別損失	19
税引前中間純利益	7,517
法人税、住民税及び事業税	215
法人税等調整額	2,672
法人税等合計	2,887
中間純利益	4,629

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 役員一覧(株式会社 紀陽銀行)

(平成24年9月30日現在)

取締役頭取(代表取締役)	片 山 博 臣	常務取締役	鈴 木 健次郎	監査役(常勤)	樋 口 勝 二
専務取締役	米 坂 享	取締役	鈴 木 教 秀	監査役(常勤)	北 山 隆 一
常務取締役	泉 清 映	取締役	島 慶 司	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
常務取締役	松 岡 靖 之	取締役	爲 岡 英 喜	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	森 川 保 彦	取締役	今 村 裕 一	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	成 田 幸 夫				

# ネットワーク (平成24年9月30日現在)

紀陽銀行は、主要営業エリアである和歌山県、大阪府を中心に107店舗を設置し、両府県にまたがる店舗ネットワークを展開しております。

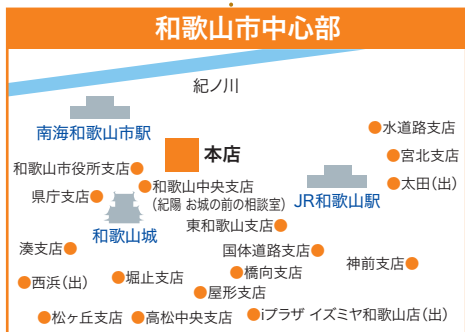
平成24年10月より、紀陽銀行の個人のお客さまが三菱東京UFJ銀行ATMを利用した際の他行ATM利用手数料105円をキャッシュバックするサービスを取扱っています。詳しくは紀陽銀行ホームページをご覧ください。



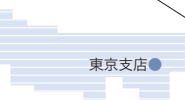
	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	118
大阪府	36	43
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	107	163

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽お城の前の相談室」、インストアブランチ「iプラザ イズミヤ和歌山店」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9カ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



(出)：出張所



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



京都支店



三重支店



徳島支店



高松支店



松山支店



高知支店



福岡支店



熊本支店



佐賀支店



長崎支店



東京支店



大阪支店



奈良支店



# 株式情報

(株式会社紀陽ホールディングス・平成24年9月30日現在)

## ●発行済株式総数

普通株式	745,017,053株
第4回第一種優先株式	23,000,000株

## ●株主総数

普通株式	23,616名
第4回第一種優先株式	1名 (株式会社整理回収機構)

## ●配当方針

利益配分につきましては、銀行持株会社の公共性に鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実現することを基本方針としています。

## ●株主名簿管理人

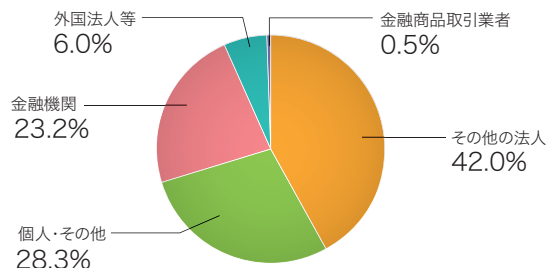
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

## ●株式事務取扱場所

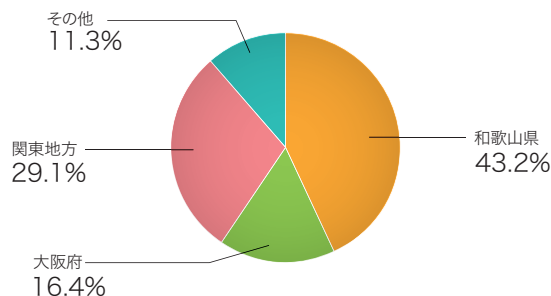
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話無料)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

## ●所有者別株式分布 (平成24年9月末)



## ●地域別株式分布状況 (平成24年9月末)



## 株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

### 単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(1,000株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。

(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、当社ホームページより左記株式事務取扱場所のホームページにお入りいただき、検索することができます。

(紀陽フィナンシャルグループHP <http://www.kyfg.com/>)



**株式会社 紀陽ホールディングス**

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kyfg.com/>

**株式会社 紀陽銀行**

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kiyobank.co.jp/>

平成24年12月発行

株式会社 紀陽ホールディングス

グループ企画部 広報・CSR推進グループ

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-5111

表紙写真:高野山 大塔

高野山は、弘法大師・空海が開創されて以来、平成27年には1,200年の節目の年を迎えます。

また、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産にも登録されています。

是非とも、和歌山へお越しの際は、お立ち寄りください。